

c. ^{ぬまつばら} 沼原

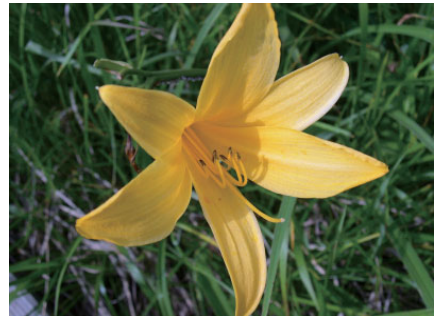
沼原(那須塩原市)は標高約1,230mに位置し、南北500m、東西250mに広がる中間湿原である。4月頃の雪解けとともにショウジョウバカマやザゼンソウが咲き始める。初夏には、ニッコウキスゲ、ノハナショウブ、アカバナシモツケソウなどが咲く。夏から秋にかけては、エゾリンドウ、ヤマトリカブト、サワギキョウなどが咲き、10月頃にはカンボクやカントウマユミなどの色鮮やかな果実や紅葉が見られる。

沼原付近の湿原内の水中では、春になると、クロサンショウウオやトウホクサンショウウオの^{らんろう}卵囊が見られる。当地は、この両種の混生産卵地として知られている。また、モリアオガエルやアカハライモリなどの両生類も生息する。昆虫では、樹林や草原を緩やかに飛ぶウラジャノメの姿が見られ、栃木県で唯一の記録であるワタナベダルマガムシの生息が確認されている。

鳥類では、減少が著しいオオジシギが見られ、那須高原の半自然草原や那須野原の^{なすのがはら}千本松などともに貴重な生息地となっている。



花が咲き競う沼原(7月)



ニッコウキスゲ(ユリ科)

(写真: 榎日水コン)



アカバナシモツケソウ(バラ科)

(写真: 長谷川 順一氏)



ノハナショウブ(アヤメ科)

(写真: 榎日水コン)

図4-10 沼原の植物



沼原の池(7月)



クロサンショウウオ (サンショウウオ科)
(写真：栃木県立博物館)



クロサンショウウオの卵のう
(写真：栃木県立博物館)



モリアオガエル (アオガエル科)
(写真：栃木県立博物館)



左表/右裏
ウラジャノメ (ジャノメチョウ科)
(写真：栃木県立博物館)

図 4-11 沼原の動物